

奈良養護学校の移転整備について

奈良養護学校移転・新設のこれまでの経緯

令和5年12月

奈良養護学校の移転を発表
(知事・仲川市長共同記者会見)

令和6年6月

旧奈良県総合医療センター跡地を移転
先に決定

令和6年7月

地元に対し、奈良養護学校の移転先と
することを説明

令和6年9月

議会に対し、奈良養護学校の移転先と
することを報告

令和7年3月

地元に対し、県・市が整備する施設の
レイアウト案を説明

令和7年4月

同上

令和7年6月

県・市に対し、地元が要望書提出
(奈良養護学校の移転については概ね
同意)

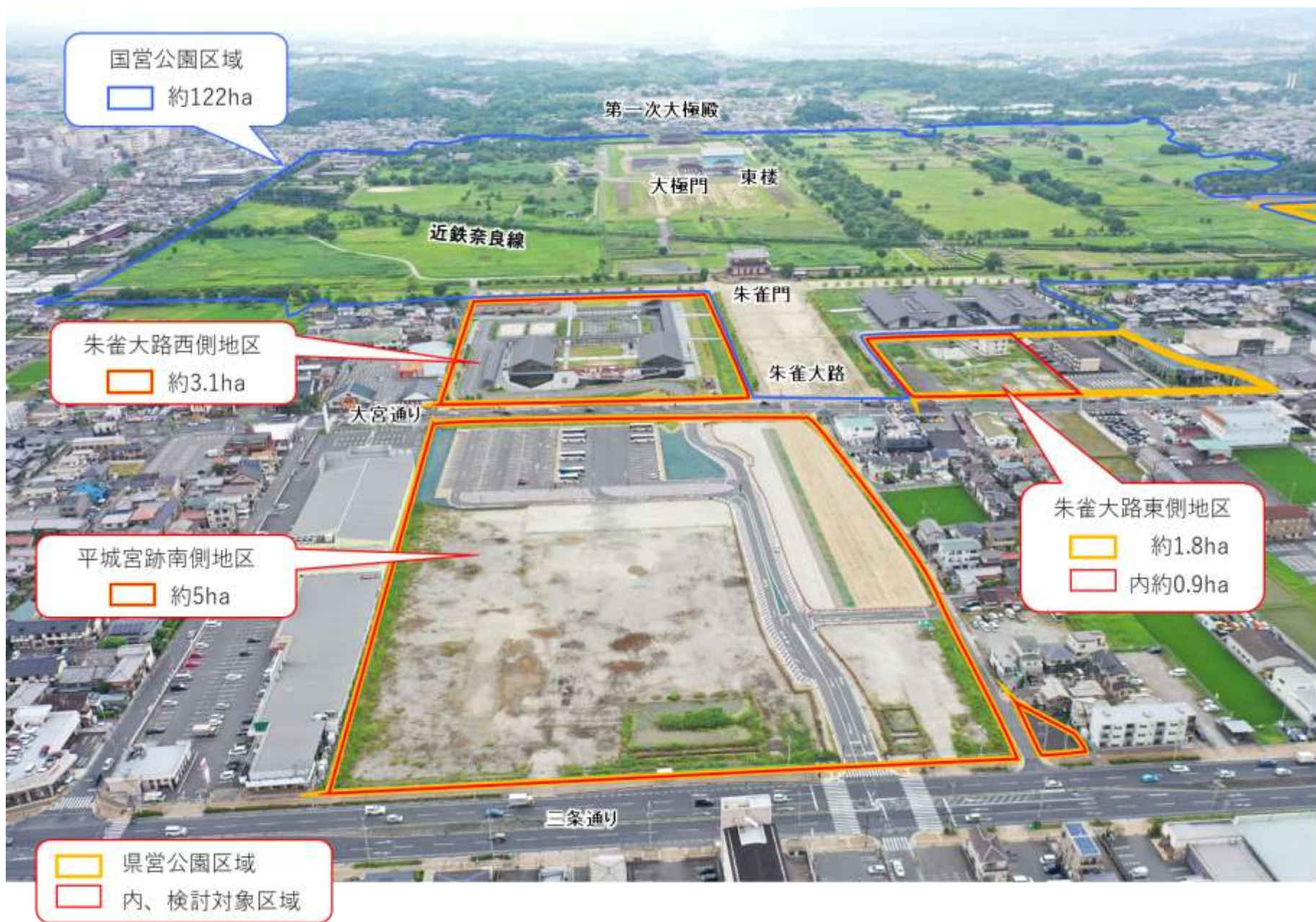


スケジュール

	R7	R8	R9以降順次	
奈良養護学校移転整備	基本構想	基本計画	設計業務	造成工事 建築工事 開校
※着手までに境界確定や奈良市への土地売却が完了することが必要				

- ・平城宮跡歴史公園は本県を代表する観光地でありながら、隣接する奈良公園（1,300万人／年）の1/10（130万人／年）しか観光客が訪れていない
- ・令和6年度、観光戦略本部に平城宮跡周辺エリア部会を立ち上げ、奈良の「食」と「クリエイティブな活動」をキーワードに、賑わい・魅力向上を目的とした、新しい公園整備の取組を推進
- ・令和8年度からの事業者募集に向け、令和7年度は、部会委員を中心としたテーマ別ワーキンググループにて、具体的な施設内容や事業手法などを検討

○位置図



【これまでの経緯と今後の進め方】

○昭和37年(1962年)高校立地

→ 平成21年(2009年)閉校

○令和5年度に地形測量を実施。また、令和5～7年度にかけて、民間事業者サウンディングを実施。

○令和5年度より、「奈良工業高等学校跡地活用まちづくり協議会」にて活用方法を検討。

令和7年5月、住宅地として活用する事業者への売却方針を決定。

○令和8年度中の公募及び売買契約等締結を予定。

【位置図】 (奈良市秋篠町1277-1)



道の駅「クロスウェイなかまち」



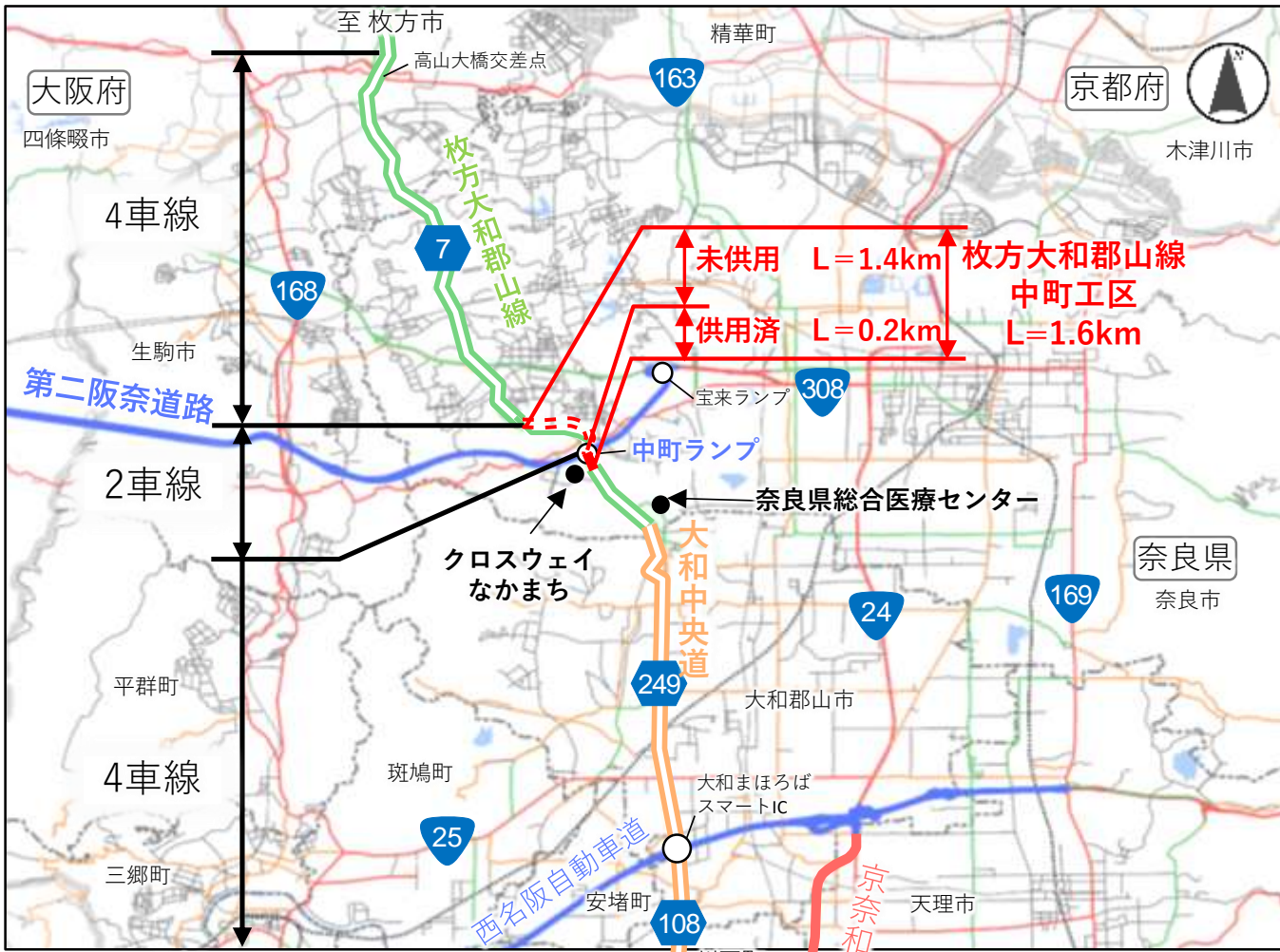
道の駅「クロスウェイなかまち」の様子

道の駅「クロスウェイなかまち」

- 県内初の「防災道の駅」であり、大規模災害時には自衛隊、消防、警察などの活動拠点となる広域防災拠点として活用する予定です。
- 開駅後より多くの方にご利用頂いており、開駅4ヶ月で約26万台の利用となっています。

県道枚方大和郡山線 中町工区

位置図



①未供用区間 (第二阪奈道路より北側)



②供用済区間 (第二阪奈道路より南側)

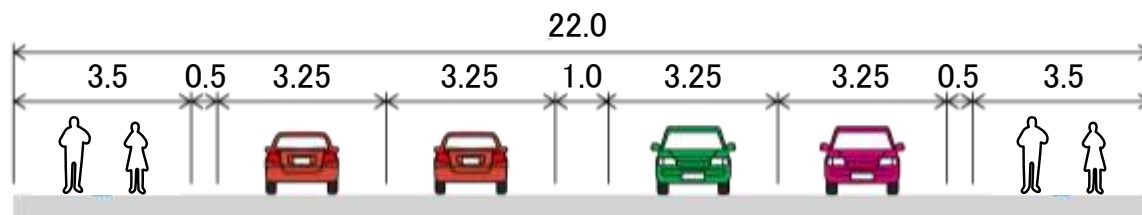


- 中町工区は、国道163号から大和中央道を結ぶ区間における唯一の2車線区間として残っており、交通混雑の緩和や、県北西部の防災機能の強化等を図ることを目的に、H24年度から4車線化に事業着手。
- R2年3月には、第二阪奈道路から南側の約0.2km区間を部分供用。
- 第二阪奈道路から北側の約1.4kmの区間については、地元調整に時間を要してきたが、R6年4月の地元協議会において計画への合意が得られたことから、現在、用地取得を推進中。

平面図



計画断面



天然
記念物

「奈良のシカ」の保護育成の取組を推進！

奈良の鹿愛護会の活動に対する支援 R7事業費 72百万円 (うち県 36百万円 市 24百万円)
R6事業費 47百万円 (うち県 23百万円 市 16百万円)

充実させる取組

鹿苑に収容シカの環境改善

より栄養価の高い飼料の給餌、寒暑風雪等の天候対策のため仮設テントの増設、清掃業務等の作業効率向上に資する機器の確保。

傷病シカ、妊娠シカの保護

- ・ 負傷したシカや妊娠したシカ等を円滑に保護するための職員の拡充。
- ・ 鹿苑の役割である、角切り、鹿寄せ等の伝統行事の保存継承、人身事故防止や公衆衛生の確保に係る職員の拡充。

奈良のシカと人の共生施策の実施

奈良のシカの保護育成のための調査研究及び普及啓発活動

- ・ 奈良公園内生息頭数調査、解剖による死亡原因の特定、行動域等生態調査に関する調査研究機器の確保。
- ・ 「奈良のシカ」と人が共存する地域づくりのための啓発活動として、シカの生態や保護活動に関する情報発信や講演会の開催。
- ・ インターンシップや職場体験学習の受入等の環境教育・学習の推進。



農業被害対策の実施 R7事業費 34百万円 (うち国補助 22百万円 県 8百万円 市 3百万円)
R6事業費 24百万円 (うち国補助 16百万円 県 5百万円 市 2百万円)

- 農業被害の多い地区への防鹿柵の設置 (R7年度は奈良阪町に設置予定)
- 第二種特定鳥獣管理計画に基づく管理 (R7年度は450頭を捕獲上限とする)



奈良公園における関係機関が連携した取組

- インバウンドなど観光客の増加に伴い、奈良公園内でのシカに関する事故、ゴミの投棄、迷惑行為などのトラブルが増加。観光客がトラブルに巻き込まれないよう、また奈良公園にふさわしい環境が保全されるよう、啓発や環境保全対策などの効果的な取組を実行するための枠組みが必要である。現在はそうした枠組みがないため、今後、行政、社寺、観光施設、公共交通機関等が連携した関係者会議を設立予定。



奈良公園ナイトタイムエコノミーの推進

- 観光消費額増加および宿泊者数増加を目的として、観光客のナイトタイムにおける既存コンテンツの活用や新たなコンテンツの実証等バラバラな取組を、県市連携して実施することで推進。

- ・奈良公園バスターミナルの夜間活用
- ・若草山からの夜景を活かしたコンテンツ
- ・庭園等のライトアップ
- ・バー等飲食店のPR
- 等



現状等

- ✓ 地域における観光振興を担う団体として、奈良県ビジターズビューローと奈良市観光協会が存在
- ✓ 各々で情報発信、プロモーション、観光案内所の運営等を行っているため、**非効率な事業運営になっている可能性**
- ✓ 観光客の多くが奈良市内に集中し、**県内広域周遊に結びついておらず、奈良市内も日帰り観光**が中心

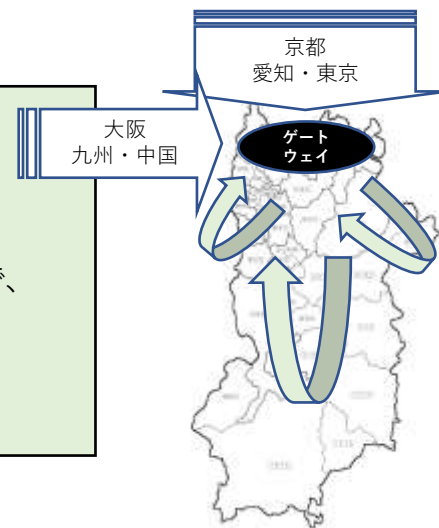
目指す姿

⇒ **ゲートウェイ機能を活かした広域周遊の促進と事業の共同展開**

交通アクセス・観光資源・宿泊施設等に恵まれている
奈良市エリアを県内広域周遊のゲートウェイ拠点として位置づけ

県ビューローと市観光協会が連携し、**市域を超えた広域周遊プロモーション等を共同展開**することで、
ゲートウェイ機能を有する**奈良市内エリアへの宿泊滞在が実現！**

日帰り観光地からの脱却による観光消費額の拡大



取組例

① 体験型コンテンツ・広域周遊プランの共同開発

➡ 観光案内所での窓口販売や市内宿泊施設の宿泊プランに組み込んでもらうことで、県内広域周遊と**市内での宿泊・連泊滞在**の拡大！

② 観光プロガイドの共同育成、共同運用

➡ 稼げる観光プロガイドを育成し、旅行会社や宿泊施設に積極的に活用してもらうことで、**観光客の満足度の向上と滞在時間の延伸**に期待！

③ 観光案内所・観光サイト等の共同運用、観光パンフ・マップ類の共同制作、プロモーションの共同実施

➡ 共同展開することで、**人的・財的リソースの最適化と効率的なプロモーション**が可能！

経緯

県・奈良市がそれぞれ、歴史的なゆかりを活かし、海外地方政府と国際交流・協力関係を構築

写真提供：中国駐大阪観光代表処



写真提供：駐日ウズベキスタン共和国大使館

	県	奈良市
中国	2011（平成23）年9月 陝西省と友好提携	1974（昭和49）年2月 省都・西安市と友好都市
ウズベキスタン	2021（令和3）年12月 サマルカンド州と友好提携	2022（令和4）年10月 州都・サマルカンド市と姉妹都市

これまでの連携・協力事例

- 「2011 西安世界園芸博覧会」において、奈良庭園を県・奈良市共同出展
- 県のイベント「奈良×ウズベキスタン・サマルカンド州友好交流フェスタ」（2023（令和5）年7月、2025（令和7）年7月）での奈良市PR展示協力
- 「奈良・サマルカンド特別交流展」（2027（令和9）年7月～9月開催予定）に係るふるさと納税について、県が広報面で協力



陝西省（西安市）やサマルカンドに係る国際交流での連携・協働を強化・充実

（具体例）

- 来年5月に陝西省・西安市で開催予定の「シルクロード博覧会」へのPRブース共同出展
- 陝西省やサマルカンドへの大学生等、青年派遣を共同実施
- 「奈良・サマルカンド特別交流展」（2027（令和9）年7月～9月開催予定）に係る広報やプレイベントでの協力
- 奈良市内での文化体験イベント（料理体験など）の共催（県国際交流員の派遣など）

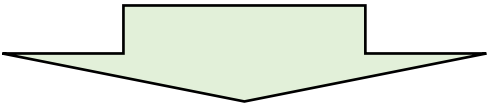


児童相談所の現状

	県	奈良市
拠点施設	県中央こども家庭相談センター（5市7町3村管轄） 県高田こども家庭相談センター（6市8町9村管轄）	奈良市児童相談所

警察と児童相談所との情報共有について

- ・奈良市は、奈良警察署と奈良西警察署と直接連携することにより対応している。
- ・奈良市児童相談所と県警の間で、児童虐待事案の全件共有はタイムリーに実施されておらず、月1回開催する要保護児童対策地域協議会（関係者間で構成される児童虐待や養育支援が必要な児童や保護者を支援する機関）で定期的な全件共有が行われている。



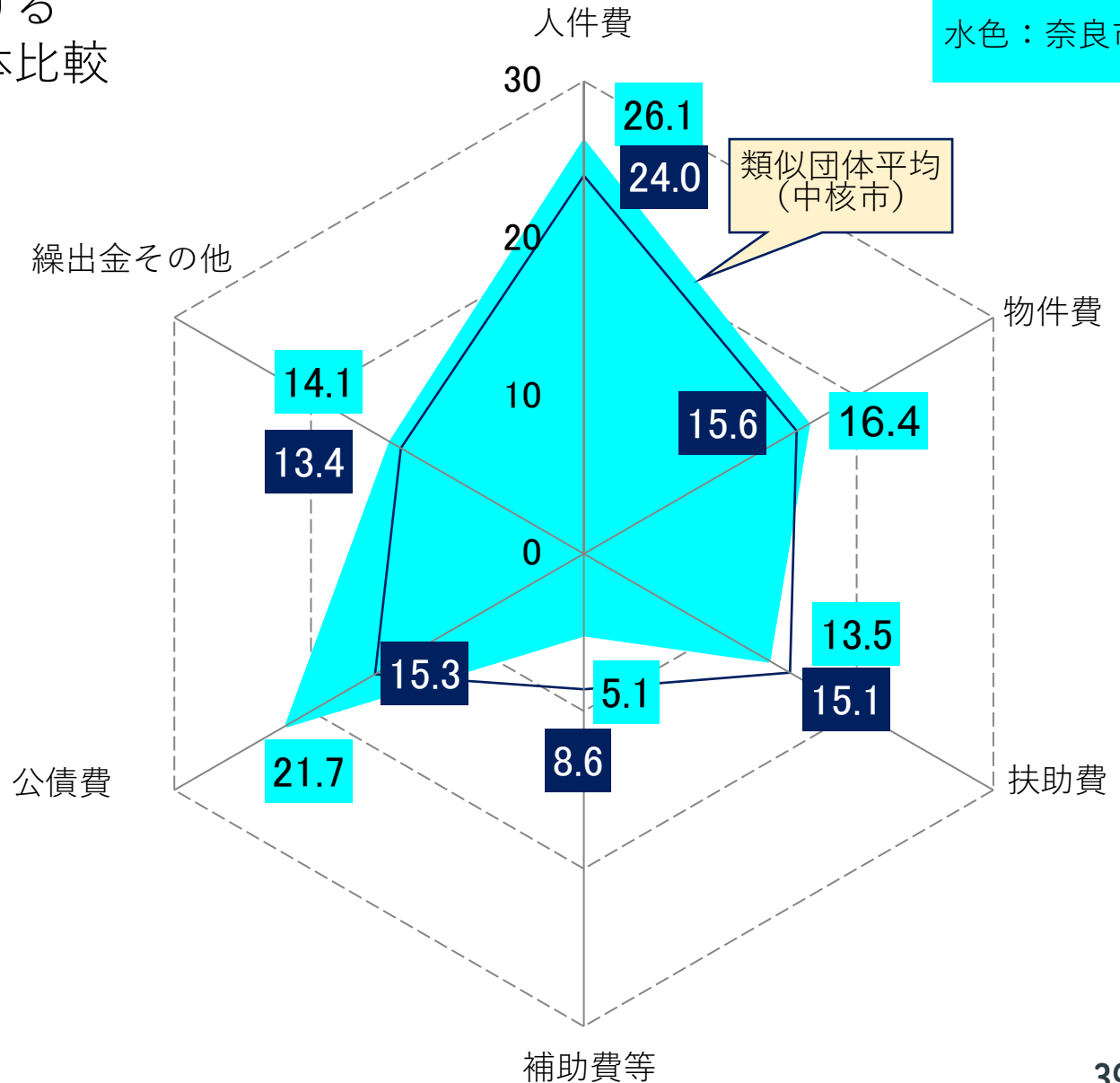
○県警と奈良市との間での児童虐待情報の全件共有

- ・令和7年4月から県児童相談所と県警の間で、スーパーアプリを活用して、随時タイムリーな児童虐待事案全件の情報共有がなされている。奈良市としても、県と同様に、県警との間でタイムリーに情報共有を実施することで、より適切な対応が可能となる。

奈良市の歳出の状況

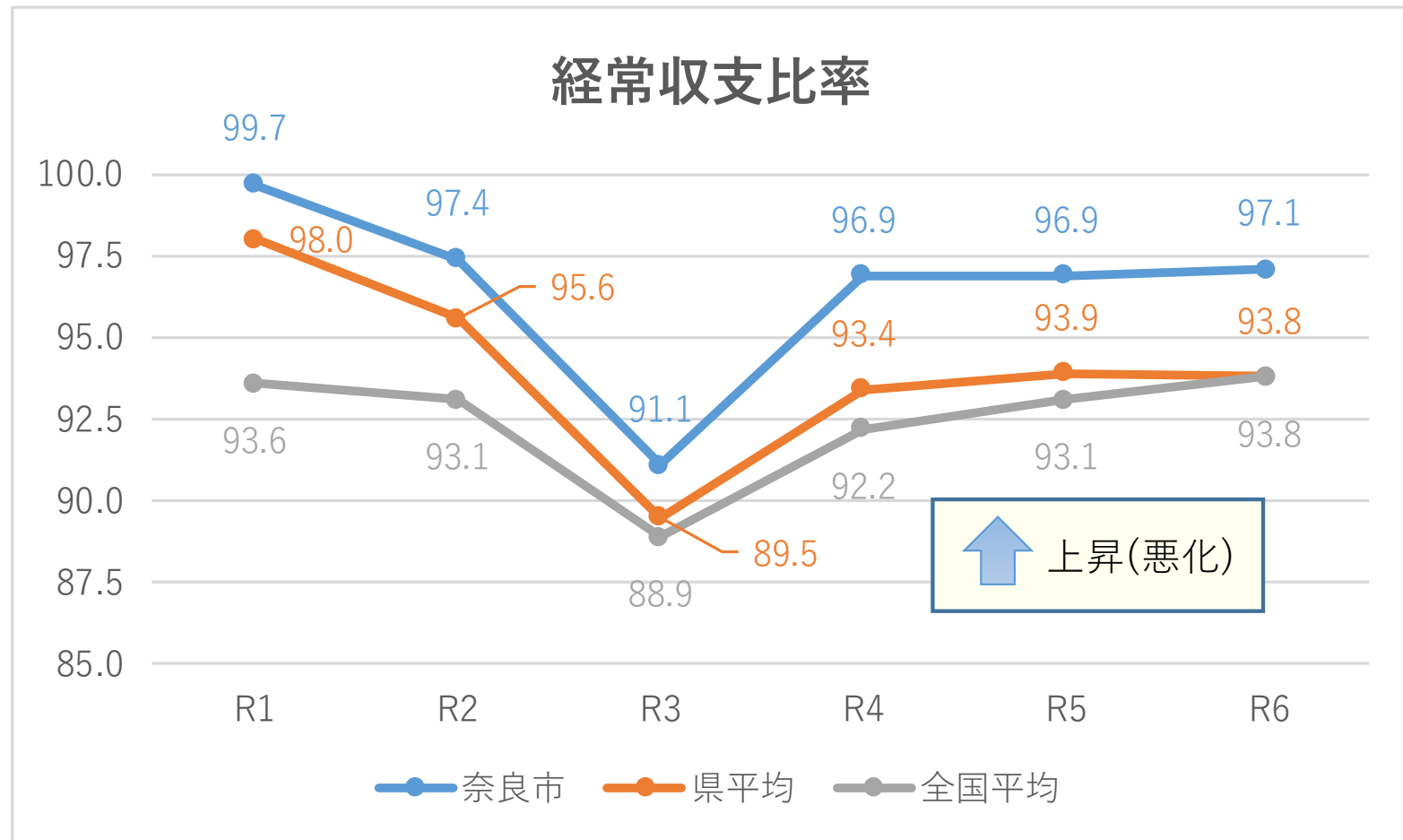
奈良市の令和5年度決算における
経常収支比率の性質別類似団体比較

人件費と公債費の
占める割合が高い



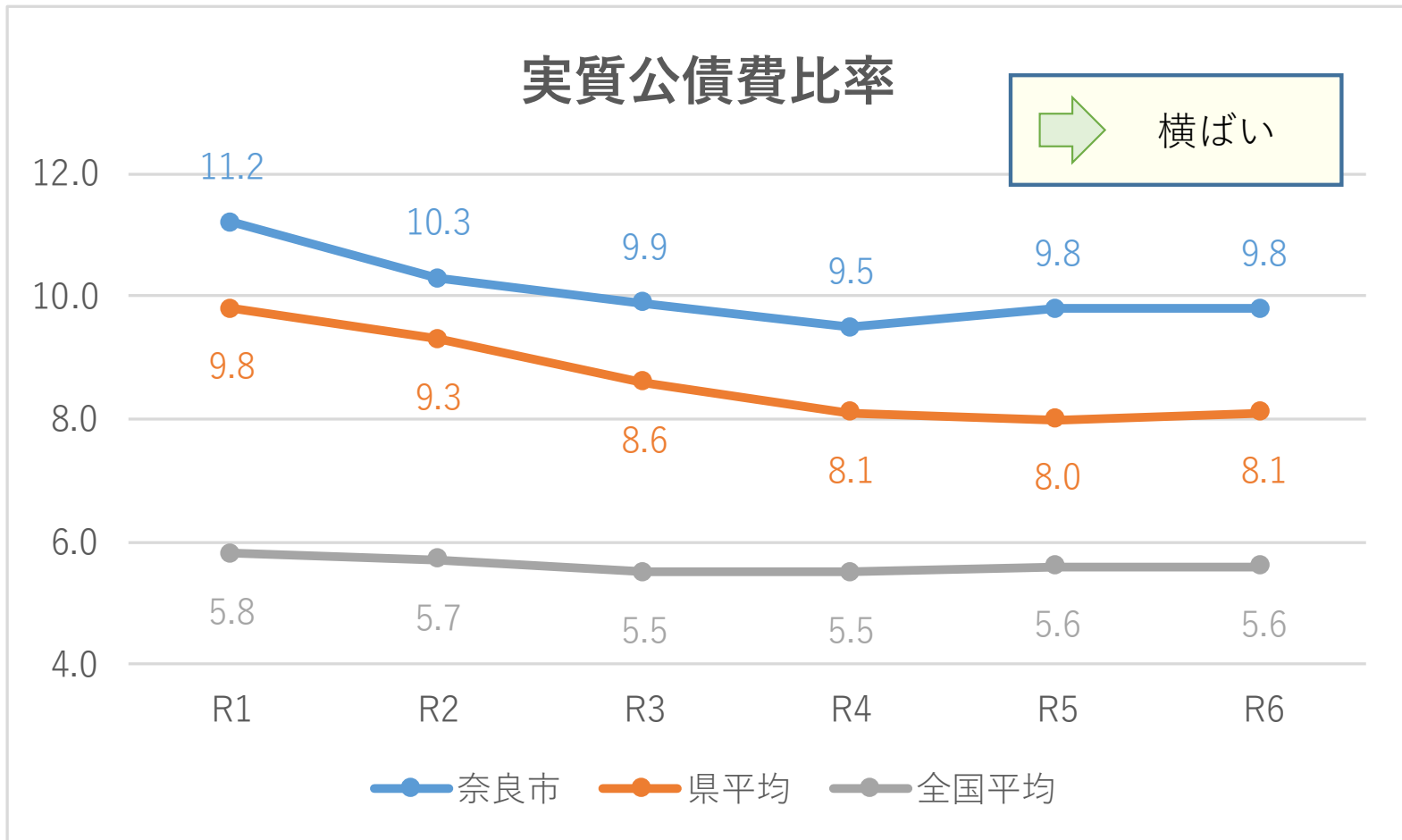
奈良市の主要財政指標の推移（R元決算～R6決算）

経常収支比率についてR 5 と R 6 を比較 ： 上昇（悪化）



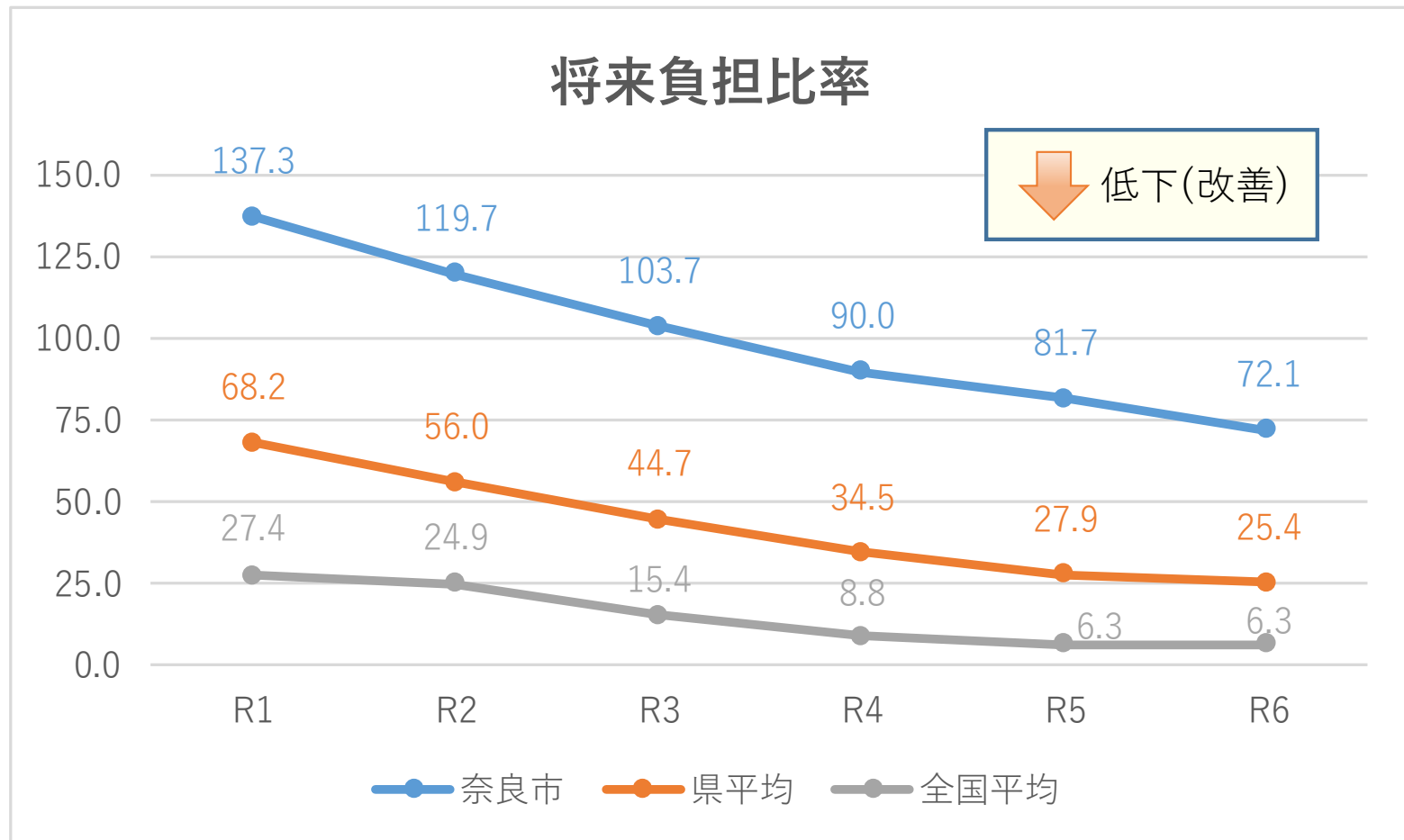
注) 四角囲みは、奈良市のR5・R6比較

実質公債費比率についてR5とR6を比較 : 横ばい



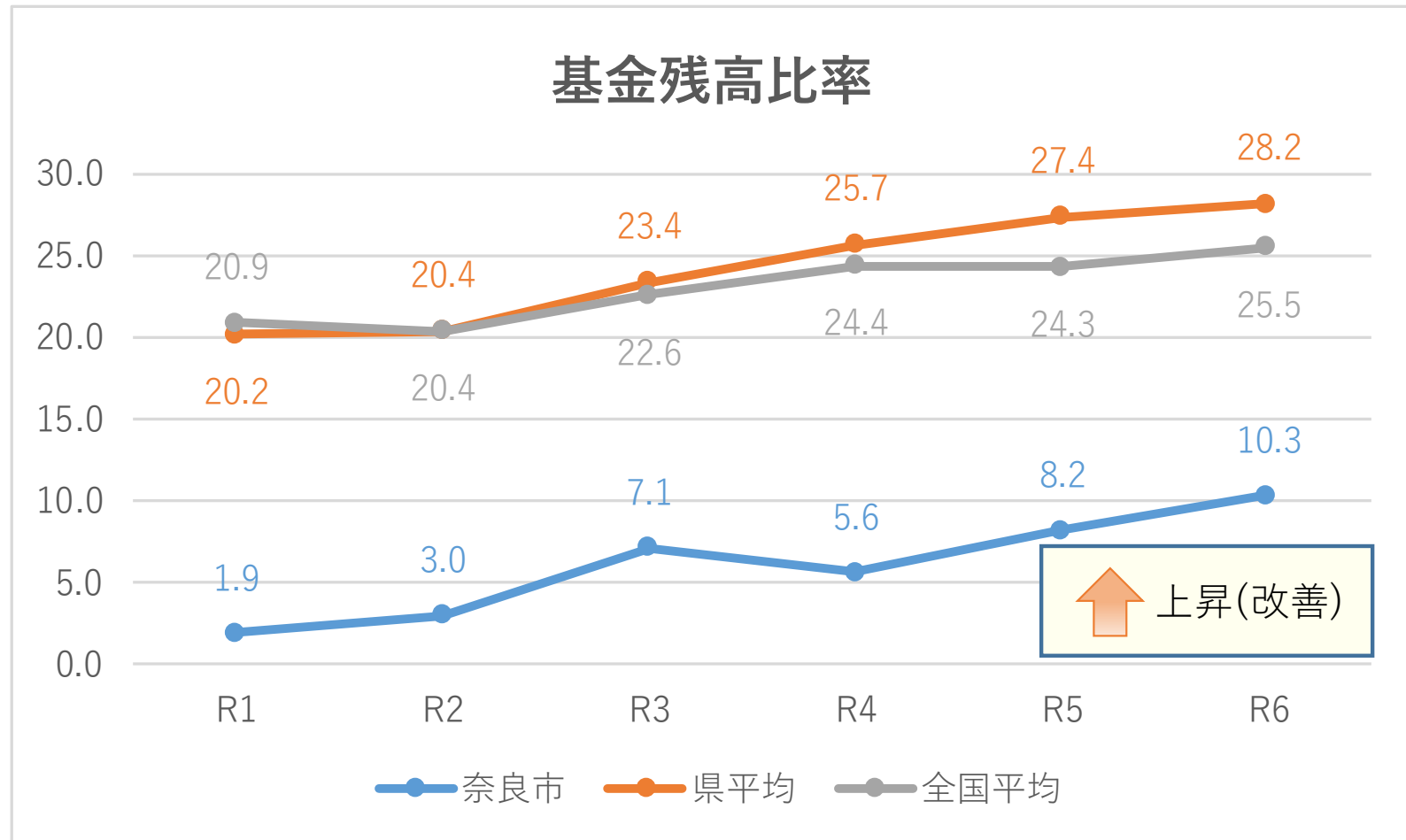
注) 四角囲みは、奈良市のR5・R6比較

将来負担比率についてR 5 と R 6 を比較 : 低下 (改善)



注) 四角囲みは、奈良市のR5・R6比較

基金残高比率についてR5とR6を比較：上昇（改善）



注) 四角囲みは、奈良市のR5・R6比較

各指標は改善傾向にあるが、
全国平均とはまだ開きがある

まとめ

○県と県庁所在地の市という地方公共団体同士であるから、政治的な立ち位置は別として、県民、市民のために、連携協力していくべき。

○トップ同士がフランクに話し合い、合意できたことは責任を持って実行することが大切。

○費用の負担割合については、複数の事業全体を見据え、中長期的な視点を持って、双方にとってウインウインになるか否かという観点から判断すべき。市の発展は県の発展につながり、県の発展は市の発展につながることは明らか。

○奈良のポテンシャルはまだ十分に生かされていない。奈良県と奈良市の信頼関係に基づいた連携協力により、双方とも、もっともっと発展できる。